

7月13日（日）主日礼拝レジュメ

「驚くべき大胆さ」 使徒の働き4章13～14節

ペテロとヨハネの大胆さ。

大胆と訳されている言葉は、神のことばを語るために、聖霊によって強められた者たちが、決して聴衆を恐れることなく、恥じることなく、自信をもって、自由に語ることを意味されている。

決して彼らは、ユダヤ人指導者たちの顔色など伺おうとはせず、また、自分たちが捕えられたこの状況から何とか逃れようとか、人々に何とかして自分の考えを支持してもらおうなどとは思わなかった。その大胆さは、聖霊に満たされたところから来ていた（8節）。私たちも聖霊に満たされること、すなわちすべてを聖霊に明け渡す歩みをし、みことばを通して語られる聖霊の導きに従って歩むなら、私たちも、このような大胆さをもって主を証しできるはず。

無学な普通の人であっても、イエスがともにいた。

聖霊に満たされるとは、イエスがともにいる歩みとも言える。これはイエスと深く結びついているということの意味を意味していて、イエスが守ってくださるとか、励ましてくださるとか、必要なことを教えてくださるということ。

人々を驚かせたイエスの知恵

- ① ヨハネの福音書7章15節「この人は学んだこともないのに、どうして学問があるのか。」

人々を驚かす知恵は、御霊から来ていた。

知恵とともに彼らは権威をもって人々に語っていた。イエス様の言葉もまた権威にあふれていた。

② マタイの福音書7章29節「イエスが、彼らの律法学者たちのよう
ではなく、権威ある者として教えられたからである。」

神から来た、みことばの権威

みことばを心に蓄えるために、暗唱聖句の大切さ

「そればかりではなく、いやされた人がふたりと一しょに立っているの
を見ては、返すことばもなかった。」(14節)

救いの証しほど効果的な伝道方法はない。イエスキリストを信じる信仰が
自分をどのように変えたのか、どのようにしていやされたのかを語る。

私たちも時には、人に対して何かを語らなければならないことがあるかも
しれませんが恐れる必要はありません。御霊が話すことをおしえてくださ
り、ふさわしいみことばを示してくださいます。ですから、私たちはみこと
ばを心に蓄え、御霊に満ちた歩みを常にしなければなりません。それととも
に、私たちの最も大切な伝道は証しです。常に回りの人に自分の救いを語
り、自分がどんな恵みを受け、神によってどのように変えられたかを証しで
きる者となりましょう。